

美しい森林づくり

国民参加の森林づくり支援について 「DCM ホームマックの森」社会貢献の森 (奥州市胆沢区字東前川山国有林)

岩手南部森林管理署

5月26日、奥州市胆沢区東前川山国有林51林班内において、「DCM ホームマックの森」育樹会が開催されました。

この箇所は、胆沢ダム建設のための土砂を採取した跡地で風が強く、冬は雪が吹きだまり、木の成長にとっては厳しい環境の場所です。

DCM ホームマック社は、各地で森に戻す取り組みを実施しており、協定の締結による国民参加の森林づくり制度を利用し、社会貢献の森として当署と協定を締結、平成25年度から紙製の六角形苗ポットを作製し、地域の幼稚園児を迎え植栽を実施してきました。

5年目を迎える今回は、協定区域内の植栽も終わり、植栽したヤマハンノキ、コナラ、ケヤキ等の広葉樹の周りの草刈を手作業で行うとともに、



刈払の様子



記念撮影



奥州地方森林組合による
刈払い機の講習

今まで植栽した各樹種の生存数の調査をしました。

花巻市、北上市、奥州市から集まった社員17名は、中腰での慣れない作業で、腰をさすりながらも一心に手鎌で草を刈

りとる姿には敬服させられました。

協定は今年度が期限となっていますが、同社では引き続き森に戻す活動を実施したいとの意向から今後も協定を更新、継続する予定となっています。

また、このほか当署管内には、「木の文化を支える森」として「東北電労歴史の森」や「平泉古事の森」、「多様な活動の森」として「水沢鉱山(みんちゃやま) 古道ふれあいの森」、遊々の森の「ハバラ谷地遊々の森」、「星めぐりの森」、「和賀三山月山きらめきの森」など、地域の方々や企業等が参加した協定の森があり、今後も地域の皆様からの要請を踏まえ、必要なフィールドの提供、活動の支援等国民参加の森林づくりに取り組んでいくこととしています。

他の協定での様子



木の香りや葉の種類を学習